

# 報告事項 No.5

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度第4回守谷市地域自立支援協議会		
開催日時	令和3年11月19日（金） 開会：16時00分 閉会：17時05分		
開催場所	守谷市役所 大会議室		
所管課	保健福祉部 社会福祉課		
出席者	委員	城賀本会長，新田委員，細田委員，稲田委員，定野委員，清水委員， 小野寺委員，染谷委員，酒井委員，樋口委員，石福委員 計11名	
	事務局	羽田課長，海老原係長，千葉主任 計3名	

## 審 議 経 過

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 障がい児者災害時避難支援ガイドブックについて（協議事項）

第3回守谷市地域自立支援協議会が書面協議となり、障がい種別ごとにその特性や支援についてまとめたものを委員に提示した。委員からの意見を参考に、当ガイドブック（案）が作成され、内容について説明があった。

委員から次のような意見や質問があった。

- ・ほかの地域でも災害対策において使っているところもあると思うが、どのように使っているのか
- ・関係機関のホームページの記載があるが、緊急時や災害時において手打ちは大変なので、QRコードとかあると便利だと思われる。
- ・避難所一覧について、住所や電話番号だけでは分かりにくいので、地図を併せて掲載されるといい。
- ・要援護者の不同意の理由は近所に知られたくない。しかし民生委員にならないという意見もある。質問の仕方を変えてはどうか。
- ・避難所一覧の中に、要配慮者避難所とか載せたりしないのか。損保ジャパン研修センターが要配慮者の避難先に指定されていると思うが。
- ・何年前か、大雨の時、市役所にあらかじめ避難できる場所はないかと尋ねたら、市役所の中の部屋を空けてくれたことがあった。そういった情報を内緒にしておくものなのか。
- ・今回の避難所と福祉避難所とは違うのか。
- ・第一避難所が高野小学校になっているが、そこよりも身近なサロンや空き家があるので、それらを利用してはどうか。自分たちのサロンには、飲料水や備品をそろえてみた。

- ・まちづくり協議会とかが中心になってやるのか。どこかが中心になってやらないといけないと思う。
- ・身近で歩いて行ける一次避難所として集会所を活用してみてもどうか。高齢者や障がい者はまず集会所に来てもらう。集会所から引率やら支援して避難先へ連れていく。そういう仕組みを早く地域で作らないといけない。
- ・高齢者が遠く離れた避難所に行くことは、全然現実的じゃない。それで一次避難所として、集会所やサロンとかもっときめ細かく把握して、個別の避難行動計画になっていくように作らないといけない。

以上の意見を踏まえ、検討していくこととした。

## (2) 避難行動要支援者の個別避難計画作成方針について（協議事項）

避難行動支援の制度概要及び作成方針等について説明を受けた。

委員から次のような意見や質問があった。

- ・守谷市避難行動要支援者対策検討委員会の構成員とはどういう人がいるのか。
- ・身体障がい者の人など、車いすを使わないといけない人が避難する場所に来る足の手配はこの計画に入っているのか。
- ・実際にどういった人に計画を依頼するのか。
- ・在宅酸素、透析など医療的ケアを必要としている人に対して、病院も一緒になってあらかじめ、考える必要がある。しかし体制を作ると考えると、病院といっても県単位の保健所単位で考えないといけない。

以上の意見を踏まえ、検討していくこととした。

## 3 閉 会